

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	白井 暢子	市確認欄	
専門部会名	第 1 回	子ども部会	
日 時	令和 7 年 6 月 18 日（水）10 時 00 分～12 時 00 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 7 名	市職員 2 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	1 特別支援教育コーディネーター研修について 2 障害児の進路選択について 3 週末の過ごし方について 4 就労部会との合同開催について 5 その他		
報告・検討の内容	部会員自己紹介、今年度の部会の進め方について、全体会の報告 1 特別支援教育コーディネーター研修について 9 月 5 日(金)14 時～16 時 中央福祉センター大会議室で実施予定。 講義「特別に支援が必要な児童生徒の進路について(仮)」 講師 名古屋情報専門学校 校長 伊藤 和明 先生(仮) 後半はグループワークで事例検討をする。 事例の内容について協議、各学校に進路選択についてアンケートを実施し、発達特性があり放課後等デイサービスを利用している児で困っている事例を挙げてケースを抽出する。 事業所への周知や参加人数の把握は事務局が行い、専門学校への質問も受け付ける。 参加者アンケートは学校教育課が作成、取りまとめて部会で報告する。 事例検討のまとめとして、「日進市福祉的不登校支援マップ」の紹介をして、連携することの重要性を伝えていく。 2 障害児の進路選択について 学校教育課が実施した教員・SSW 向けの進路についてのアンケート結果、相談員からの聞き取り結果を元に今後の方向性を検討する。 回答としては、学校もしくはセンターが作成するものとなるため、部会としては、よく聞かれる質問を集約し、回答が出るものだけをまとめる。 進路については学校に相談になるが、現状担任では分からないこともあり、進路指導主事が最新の情報を持っていることが多い。		

事業所として答えられる範囲で答えられればと思う。  
学校としては、進路を見立てていくのに知的障害があるかどうか  
が大切だが、それが分かりにくい。

事業所からの意見については、事務局より事業所向けアンケート  
を実施、事業所交流会でも取り上げてもらう。

### 3 週末の過ごし方について

年間カレンダーを作成して社協のホームページに載せ、イベント  
名をクリックすると詳細が見られるようにする。

保護者への周知については、コドモンを利用して支援級の保護者  
のみに周知が可能。ホームページの準備が出来次第周知をし、最  
新情報はホームページで更新していく。

愛知淑徳大学 CCC とも共有しており、イベント情報を載せて周  
知することが出来るとお伝えしている。

昨年部会で協力したイベントの際のボランティアのバス送迎に  
ついては、中日青葉学園は、地域支援を幅広く行っていくとのこ  
で、ご厚意でバス送迎については継続可能であることを愛知淑徳  
大学 CCC にお伝えしている。

チャレンジド夏祭りについては、社協の予算上の課題もあり、障  
害のあるお子さんの楽しみの機会の提供、地域交流と障害理解と  
いう主旨をそのまま継続するが、内容を変更して「チャレンジド  
お菓子作り」として実施予定。

1月に小中学生と保護者を対象に林和子さんを講師として実施す  
る。

### 4 就労部会との合同開催について

就労部会から子どもの頃から将来働くことを意識したり、支援者  
が繋がりのある支援をしていくため合同開催について提案があ  
ったことを説明、協議する。

学校でも先を見据えた支援が大切と考えているので良いと思う。  
就労部会で取り組んできた流れはあると思うが、検討され尽くし  
ているのかという確認は必要ではないか、学校や保育園などにこ  
れ以上求めるのは現状では難しいのではないか。

先の支援を知ることによって保護者を支える、地域の先生を育てる、専  
門性を広げていく視点が大切ではないか。

どの年齢でも先々を考えることは大切。年齢に応じて議題は広が  
ると感じる。繋がりのある支援について話せると良いのではないか。

### 5 その他

#### ・就学説明動画について

4月にサービス利用中の年長児の保護者、関係機関に案内を発送し  
ている。

#### ・医療的ケア児の現状について

愛知県医療的ケア児支援センターに基礎情報を市から報告してい  
る。(保護者から了承を得た13名)

県から市に実態調査依頼があり実施している。40歳未満の医療的  
ケア児者対象で17名について実施。

尾張地域医ケア児支援者圏域会議に参加(市・相談員)

災害対応、在宅レスパイトについての情報が得られた。

提出書類	別添の通り
次回開催日時	令和7年9月5日（金）特別支援教育コーディネーター研修
次回会場	中央福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第1回	子ども部会
日 時	令和7年6月18日(水) 10時00分～12時00分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 山田 裕子	
② 山本 哲也	
③ 岡田 美穂	
④ 大嶋 翔太(欠席)	
⑤ 大石 葉子(欠席)	
⑥ 阿尾 匡晃	
⑦ 丸山 美希(欠席)	
⑧ 浅野 紗織	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

(市職員)

① 奥田 佐智子	② 福田 早希
----------	---------

(事務局)

① 武田 裕子	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝	④ 西澤 伸太郎
⑤ 白井 暢子	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	白井 暢子	市確認欄	
専門部会名	第 2 回	子ども部会	
日 時	令和 7 年 9 月 5 日（金）14 時 00 分～16 時 00 分		
会 場	中央福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 9 名	市職員 1 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	令和 7 年度 特別支援教育コーディネーター研修 1 はじめに 2 講義「特別に支援が必要な児童生徒の進路について」 講師：名古屋情報専門学校 校長 伊藤 和明 様 3 事例検討（グループワーク） 4 おわりに		
報告・検討 の内容	開催時間： 午後 2 時～4 時 場 所： 日進市中央福祉センター 大会議室 参加者：日進市内小中学校 特別支援教育コーディネーター 15 名、 スクールソーシャルワーカー 2 名、 障害児福祉事業所職員 13 名 三好特別支援学校 1 名、 学校教育課 3 名、 市職員 2 名 障害者相談支援センター1 名、 子ども発達支援センター4 名 合計 41 名（うち部会員 14 名）  1 研修内容 講義 テーマ「特別に支援が必要な児童生徒の進路について」 名古屋情報専門学校 校長 伊藤 和明 様 内容 名古屋情報専門学校の紹介（別途資料参照） 学校の特色、学習指導、行事、卒業後の進路等について  事例検討 グループで事例検討を行う（多職種で 1 グループ 5～6 名）。 事例は学校教育課が各学校にアンケートをして進路選択に不安があるケース を抽出し、各グループで学校が 1 事例を報告、事例検討のフォーマットを利用 して支援方法について検討した。		

	<p>2 アンケート集計結果 配布数 39部 回収13部 回収率33%</p> <p>① 講義について 専修学校の細かい情報を知ることができ、具体的な選択肢として保護者に伝えることができると感じた、様々なケースを例に挙げて対応方法を聞いて参考になったという回答が多かった。</p> <p>② 事例検討について 様々な立場の人と話すことで支援方法が広がった、具体的に事例について考えることができたとの意見が多かった。一方で名前を出せず、子どもの様子を上手く伝えられず検討しづらかったという意見もあった。</p> <p>③ 今回の研修方法について 講義の内容が新鮮でよかった。多職種の方の話を聞いて良かった、ケース会議の流れを再確認出来て良かった等の意見が多かった。市内の特別支援学級や特別支援学校の進路の傾向が分かると有効だと思ったという意見があった。</p> <p>④ 次年度以降の研修希望について 発達に課題がある子どもの就労支援やその他の選択肢を知りたい、保護者対応について、放課後等デイサービスや事業所の特徴、福祉的不登校支援体制マップに沿った成功事例などの意見があった。</p>
提出書類	別添の通りあ
次回開催日時	令和7年10月15日(水) 就労部会との合同部会
次回会場	障害者相談センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第2回	子ども部会
日 時	令和7年9月5日（金）14時00分～16時00分	
会 場	中央福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 山田 裕子	
② 山本 哲也	
③ 岡田 美穂	
④ 大嶋 翔太	
⑤ 大石 葉子	
⑥ 阿尾 匡晃（欠）	
⑦ 丸山 美希	
⑧ 浅野 紗織	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

（市職員）

① 奥田 佐智子	② 福田 早希（欠）
----------	------------

（事務局）

① 武田 裕子	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝（欠）	④ 西澤 伸太郎
⑤ 白井 暢子	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	宮川 みどり	市確認欄	
専門部会名	子ども部会 第3回 就労部会 第4回	子ども部会・就労部会合同部会	
日時	令和7年10月15日(水) 10時00分～12時10分		
会場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 19名	市職員 2名	事務局 7名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己紹介</li> <li>2 合同部会開催の経緯</li> <li>3 放課後等デイサービスでの支援・課題 放課後等デイサービス リブレイン 丸山さん 資料：子ども支援のための相談の流れ 日進市障害者相談支援センター 白井より 本人支援の視点：5領域とは</li> <li>4 就労移行支援事業所での支援・課題 就労移行支援事業所 パッソ日進校 中河さん 資料：福祉サービスを利用した福祉就労について 日進市役所 介護福祉課 吉ノ元より 就労移行支援事業所での支援・課題 パッソ日進校 週間スケジュール</li> <li>5 B型事業所での支援・課題 就労継続支援B型事業所 ポレポレハウス 水谷さん 資料：ポレポレハウスにおける利用困難事例から見る支援の課題</li> <li>6 質疑応答</li> <li>7 全体ミーティング (1)切れ目のない支援をしていくために、何ができるか？ (2)来年度、合同で何が行えるか？</li> <li>8 まとめ</li> </ol>		
報告・検討の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己紹介 各部会員全員の自己紹介</li> <li>2 合同部会開催の経緯 子ども部会・就労部会を含む専門部会は平成23年に発足し、つながりのある支援の連携を目指して協議を重ねてきた。しかし進展が十分でない現状を踏まえ、令和7年4月の全体会で「つながりのある支援」「子どもの頃から就労を意識した支援」「親亡き後の自立を見据えた支援体制作り」の重要性の再確認を行った。その結果、今回の子ども部会と就労部会の合同部会の開催に至った。今回初回となる合同部</li> </ol>		

会は、児・者の事業所が取り組み内容の相互理解を深め、共通認識を持ち、今後の支援を構築していくための第一歩として企画した。

3 放課後等デイサービスでの支援・課題

放課後等デイサービス リブレイン 丸山さん

4 就労移行支援事業所での支援・課題

就労移行支援事業所 パッソ日進校 中河さん

5 B型事業所での支援・課題

就労継続支援B型事業所 ポレポレハウス 水谷さん

6 質疑応答

<質問1>

引きこもりの方や、退院直後の方等、職業準備性ピラミッドの基礎部分ができていない方等もおられると思うが、その方も就労移行の期限の2年間の中で就労に結びついているか？

<回答>

多くの方が就労につながっていかれる。しかし難しい方には本人の意向を確認しつつ、他サービスへ移行される方もおられる。

<質問2>

事業所に通う成人した方でお金の使い方が適切でない方がおられる。ご両親も困ってしまっている。子どもの事業所で幼少期にできるアプローチはどんなものがあるか？

<回答>

- 認知・行動・感覚・数の概念など「5領域」で発達状況を分析し、支援していく
- 数字の理解や金銭感覚が未発達な場合は、視覚教材などを活用して支援する
- 学校の学習レベルや生活状況も踏まえて個別対応
- 模擬買い物体験（100円でお菓子を買うなど）
- 紙芝居を使った「お金でできること・できないこと」の学習
- おやつの時間に「お金を払う→物を得る」経験を積む
- 高等部では金額を決めて使う練習
- 携帯決済のブロックなど、保護者への支援も実施

<質問3>

感情の起伏が激しく、暴言・暴力が見られる方に、幼少期にどんな支援があったらよいと思われるか？

<回答>

エコマップを活用し、頼れる人・機関を可視化。幼少期からの支援履歴や社会資源の活用状況を確認していく。幼少期からの環境整備と医療機関との連携も含めた支援の積み重ねが、成人後の安定につながる。保育園・学校など、早期から頼れる環境があったかが鍵になる。

7 全体ミーティング

(1)切れ目のない支援をしていくために、何ができるか？

部会員一人ずつ発言。

- 障害児支援の指標になっている5領域のスキルのアンバランスさが、大人になっても課題になっていることが共有出来た。放課後等デイサービスでも自己管理・生活基盤の底上げが必要であり、自己発信や情緒の安定も重要。

- 放課後等デイサービス卒業後に保護者との連絡が途絶えることが多く、進路先が分からない。また卒業までに何をできるようにしておくとかを知らりたい。それを事業所内で共有していくことが必要。
- 支援者同士の意見交換の重要性を実感。事業所間の認識を深め、連携を強化していきたい。
- 就労後に必要なスキルを事前に把握することで、日々の支援に活かせる。感情の起伏など基礎的な力を育てつつ、本人の強みを一つでも多く伝えることでそれを生かしていけるのでは。
- 現在の支援が将来の大人の姿につながることを意識していきたい。就労先に支援内容を伝える手段（ツール）を作れるとよいのでは。合同部会で共有できる仕組みを作れると良いと思う。
- 療育や保育園での支援は基本の基の部分を感じた。親子・地域の園との連携が重要。保護者が抱えている将来に対する不安の解消のためには、今できる身近自立や特性理解が土台になる。園に持ち帰って共有したい。
- 小学校から高校までの切れ目のない支援を意識し、個別支援計画を作成している。しかし学校を卒業してしまうと支援が途切れる現状を踏まえ、関係機関との情報共有が必要と感じた。
- 小中高までは支援があるが、就労先の情報が入らず切れ目が生じる。学校や学校教育課との連携を通じて、支援者が過去の情報にアクセスできるようになり、支援者が繋がっていくことが切れ目のない支援に繋がるのではないかと。
- 就学相談の中でも、将来の就職先を見据えた環境選びが重要と保護者さんに話している。学校も研修や見学を通して事業所や企業の知識を得る必要がある。
- 保育園でも支援が必要な保護者が増えている。将来の見通しを持った保育や子育てが出来ることが大切と感じた。
- 学校・家庭での幼少期の状況を知るツールや、連絡手段の整備が必要。情報の蓄積と共有が切れ目のない支援につながる。
- 学校卒業後に、社会のルールに突然適応を求められることが大変だと思う。そんな時に趣味や好きなことを事前に把握し、本人に合った声かけや支援が行えれば、安心感につながると思う。事業所間の情報交換と定期的な会の開催がそういった状況の構築につながるのではないかと。
- 放課後等デイサービス職員が卒業児にとって信頼できる存在というお子さんも多い。保護者に職業準備性ピラミッドの基礎土台（自己管理能力やコミュニケーション力）を幼少期から積み上げることが大切。例えば家で留守番が出来るか、自分で健康診断に行けるか等のスキルも必要で、保護者にもそれを伝えていけると良い。
- 担当者の異動などで支援が途切れることも理解し、制度の限界を認識しつつ、見学会や会議を通じて支援者間の接点を増やして繋がっていったらと思っている。制度にない草の根的な活動や非公式なつながりも活用していけると良い。
- 受け入れ体制を考えていきたい、以前の情報がどこにあるか分

かると支援に生かせる。企業の受け入れをどう広げていけるかも課題。

- 職業準備性ピラミッドが重要。企業は定着できる人材を求めており、支援者の存在や基本的な生活スキル（挨拶など）が重視される。
- 実際の就労現場を見学することで、就労につなげるための支援のイメージを持っていただけるのではないかと。福祉サービス説明会の開催も有意義。合同での開催も理解促進にもつながるのではないかと。
- 制度が切れ目を作っているが、本人には切れ目はない。卒業生の活躍が評価につながる。卒業生と交流する機会を作るのも良いのではないかと。
- 事業所で幼少から関わり、就職できた方が3人いる。保護者にも情報を共有し、何が大切かを理解してもらうことが必要。良い事例を共有するのもよいのではないかと。情報共有のツールがあるとよい。
- 情報共有ツールは良い案だと思う。今年度より福祉サービスの給付が、児・者共に介護福祉課に一体化されたので、今後見えてくるものがあると考えている。

(2) 来年度、合同で何が行えるか？

→時間の都合により、(1)でも意見が出たため割愛。

## 8 まとめ

切れ目のない支援のために必要なこと

- 来年度の合同部会では、支援の成功事例を共有し、他事業所や支援者が参考にできるようにする。
- 小さな支援の積み重ねや日常の様子など、幼少期からの情報を蓄積できる仕組みとしてヘルピーネットの活用が重要。ヘルピーネットは、過去の支援履歴を確認できる日進市が推進する信頼性の高いシステムであり、支援者が自分のタイミングで閲覧・更新できる利便性がある。放課後等デイサービス、学校、就労支援、企業など異なる支援者間の情報共有を可能にするツール。個別支援計画のデータ化と共有を進め、複数事業所間でのモニタリングや連携が可能になるようにする。制度や担当変更による「切れ目」を補う。
- 支援者や相談員が横のつながりを持つ。  
→合同部会の継続を確認。  
→10月20日開催予定のヘルピーネット勉強会の周知を実施。

提出書類	別添のとおり
次回開催日時	子ども部会：令和7年12月17日
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第3回	子ども部会
日 時	令和7年10月15日（水）10時00分～12時10分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 谷本 由美	
② 山本 哲也	
③ 岡田 美穂	
④ 大嶋 翔太	
⑤ 大石 葉子	
⑥ 阿尾 匡晃	
⑦ 丸山 美希	
⑧ 浅野 紗織	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

（市職員）

① 奥田 佐智子	② 福田 早希（欠席）
----------	-------------

（事務局）

① 武田 裕子	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝	④ 西澤 伸太郎（欠席）
⑤ 白井 暢子	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 4 回	就労部会
	令和 7 年 10 月 15 日（水）10 時 00 分～12 時 10 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

就労部会専門部会員	
① 中屋 優	② 中河 智幸
③ 小山 喜久（欠席）	④ 中田 義雄
⑤ 水谷 公哉	⑥ 関谷 悠
⑦ 吉川 正洋	⑧ 鈴木 英雄（欠席）
⑨ 岡田 倫和（欠席）	⑩ 村野 政章（欠席）
⑪ 菅原 淳	⑫ 草野 圭一
⑬ 竹内 由美子	

（市職員）

① 吉ノ元 菜乃	
----------	--

（事務局）

① 渥美 則親	② 八木 柚月（欠席）
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝
⑤ 宮川 みどり	⑥ 中村 美智子

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	白井 暢子	市確認欄	
専門部会名	第4回	子ども部会	
日時	令和7年12月17日(水) 10時00分～12時00分		
会場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 9名	市職員 2名	事務局 3名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 就労部会との合同部会について（振り返り）</li> <li>2 特別支援教育コーディネーター研修について</li> <li>3 障害児の進路選択について</li> <li>4 来年度の取り組みについて</li> <li>5 全体会で伝えたいこと</li> <li>6 その他</li> </ol> 週末の過ごし方カレンダーについて 医療的ケア児の現状について		
報告・検討の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 就労部会との合同部会について（振り返り）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の入口は広いが、出口が分からず進路先がよく分からないまま支援をしている場合が多く、将来を見据えて支援するために助言を貰えると有難い。</li> <li>・先日実際に就労移行に見学に行き少しイメージが出来たが、将来の進路先の見立てが難しく、卒業までに何が出来ていたらいいのか分からない。</li> <li>・社会資源や就労の選択肢を知ることが支援者の力になると思う。</li> <li>・就労部会から教えてもらうだけでなく、子ども部会からも伝えられることがないか考えられるとよいのではないか。</li> <li>・障害児の発達支援での5領域と職業準備性ピラミッドの内容が重なる部分も多い。具体的な方法論やHow toが学べるとよいのでは。例えばあるケースを通して就労移行が実習を受けて客観的な評価を貰い、放課後等デイサービスでその評価を受けて支援を見直したケースがあり、そういったケースを通して双方の立場から議論が出来ると良いのではないか。</li> <li>・進路の選択肢があることを高校生本人に伝え、児自身が迷うこともあるが自分の将来を自分で考える良いきっかけになったケースもある。</li> </ul> </li> <li>2 特別支援教育コーディネーター研修について               <ul style="list-style-type: none"> <li>実施報告を基に今年度の振り返りを行う。</li> <li>・講義について、進路の選択肢の一つとして理解出来るきっかけになったのではないか。事例検討については、令和6年は架空のケースで行ったが、具体的に話しにくいという意見もあり、今年は実際のケースで実施した。</li> </ul> </li> </ol>		

- ・アンケート結果から福祉と学校との連携がまだ進んでいない、情報共有が出来ていない現状も見えている。
- ・今後も引き続き支援者の顔が見える関係づくりは大切。来年度もコーディネーター研修を続けていけていきたい。
- ・内容としては、引き続き進路選択について。例えば通信制の学校について講義してもらうのはどうか、または保護者対応について、放課後等デイサービスの見学、学校の支援級の見学なども検討してもよいのでは。
- ・進路先が多様になってきていて支援者が進路について知っておくことでよりよい支援に繋がる。日進高校付属中学についても今後動きがある。
- ・学校の先生から進路についての情報も貰えたら有難い。
- ・学校などの進路だけでなく、一般社団法人アスバンで不登校や貧困家庭の高校生向けにヘルパー研修や職場でのインターンシップを紹介しており、県内で20人以上受けている。
- ・学校教育課としては、学校でも活発に事例検討を実施してもらいたいと思っているため継続して出来ると良い。
- ・事例検討で、保護者の意見をどう聞いているか確認すると、はっきりとした意向を聞けていない先生も多いのではと感じた。保護者の意見ももう少し聞いてもらえると良いと感じた。
- ・時期は学校側としては来年度も9月の1週目をお願いしたい。2週目以降は定期テストや校外学習等があって難しい。

### 3 障害児の進路選択について

進路について保護者からどんな質問を受けているのかを学校、事業所、相談員からアンケート聴取し事務局が要約した質問について学校教育課に回答をいただいた資料を基に、内容について協議を行った。今後の用途に応じて表記の仕方を修正していくことについて議論され、次回はさらに修正したものを基に検討することとなる。

### 4 来年度の取り組みについて

来年度のテーマと開催時期について議論する。

- ・障害児の進路選択における関係機関の連携、就労を見据えた学齢期からの支援については今年度に引き続き検討していく。
- ・学校と福祉との連携については、上記のテーマに取り組んでいく上でも必要なためテーマにしてはどうか。
- ・医療的ケア児についても検討する場となっており、それも含めて検討。
- ・市内の事業所の意見を聞くため、児の事業所交流会と子ども部会との連動をもう少し出来ると良いのではないか。
- ・事業所交流会の内容を子ども部会から提供する形も出来るのではないか。
- ・現在所属機関が電子連絡帳ヘルピーネットの利用規約に該当せず、入れない機関があるため市に入れてもらえるように依頼している。来年度はヘルピーを使って子ども部会の議事録や資料など情報共有するとともに、意見交換にも活用していきたい。
- ・開催時期としては、6月頃、9月に特別支援教育コーディネーター研修、12月に部会全体会がある予定のため、その後1月～2月頃に部会を行い、就労部会との合同部会については今後就労部会と協議していく。現在の時点では4回の予定。

	<p>5 全体会で伝えたいこと</p> <p>3月に実施される全体会に部会長、副部会長が出席し今年度の取り組み、来年度のテーマについて報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、全体会でのテーマに沿って繋がりのある支援を意識して協議を行ってきたことを確認、子ども部会での内容を報告するとともに、来年度も引き続き就労部会との合同部会開催を希望していくことを確認した。</li> <li>・就労部会が開催している福祉的就労説明会についても、どのように行われているのか分からない部会員もいるので、参加すると就労のイメージも持ちやすくなるのではないか。</li> </ul> <p>6 その他 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週末の過ごし方カレンダーについて 直近30日間の閲覧数が18件だった。来年度もカレンダーを作成して、掲載をしていく。また掲載時には「コドモン」にて配信して周知を行うとともに、周知方法についてその他の方法について検討を行う。</li> <li>・医療的ケア児の現状について 本日担当者不在のため、経緯のみお伝え。 今年度医ケア児の保護者に向けてアンケートを実施、来年1月には定例で行っている(年2回)医療的ケア児の支援に関わる打合せ会を実施予定。 部会の事前打ち合わせで、医療的ケア児の就学相談についての流れについて意見が出たため、参考資料を提示する。 学校教育課の近藤先生が、愛知県医療的ケア児支援センターの依頼を受けて研修会で講義をした資料を用いて、近藤先生に就学の流れをご説明いただいた。</li> </ul>
提出書類	別添のとおり
次回開催日時	調整中
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第4回	子ども部会
日時	令和7年12月17日(水)10時00分～12時00分	
会場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 谷本 由美	
② 山本 哲也	
③ 岡田 美穂	
④ 大嶋 翔太	
⑤ 大石 葉子(欠席)	
⑥ 阿尾 匡晃	
⑦ 丸山 美希	
⑧ 浅野 紗織	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

(市職員)

① 奥田 佐智子	② 福田 早希
----------	---------

(事務局)

① 武田 裕子(欠席)	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝(欠席)	④ 西澤 伸太郎
⑤ 白井 暢子	